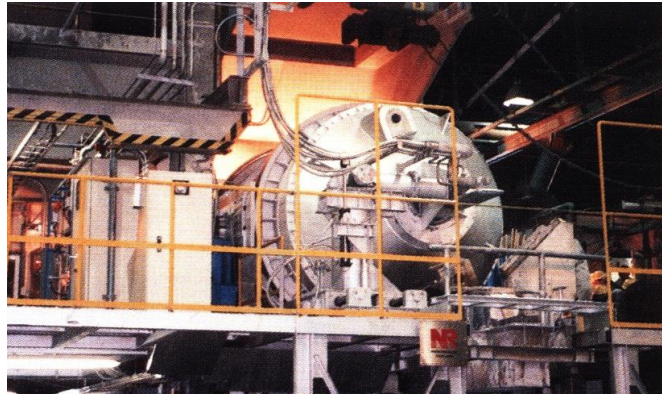


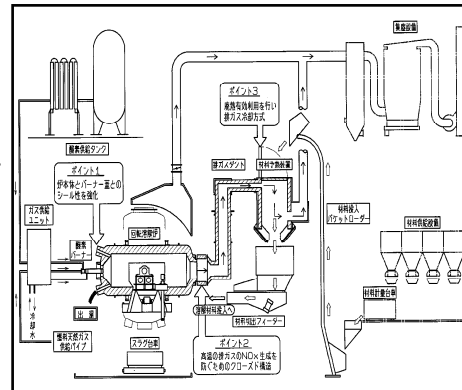
## 回転溶解炉

理論燃焼温度2800°Cの純酸素バーナーを熱源としたクリーンエネルギーを燃料にした溶解技術です。キュポラの石炭コークス供給問題、電気炉の電力供給問題、不純物元素増加している溶解材料問題に対して、優位性を持っていると評価されている。また、地球温暖化においても優しい溶解炉として期待されます。



### 特長

- 1 地球環境にやさしい溶解炉 (CO<sub>2</sub>削減効果)  
純酸素と天然ガスなどクリーンエネルギーを用いて溶解するので地球環境にやさしい溶解炉です
- 2 溶解効率55%  
他の回転炉と比較して、廃熱有効利用したシステムの開発により溶解効率55%を達成した
- 3 冷却水を使用しない溶解炉  
電気炉のように炉体本体を冷却水で冷却しないので、非常に安全また、停電時の対応も非常にシンプルです
- 4 不純物を含んだ鉄材対応可能  
Zn鋼板屑などを原料として溶解した場合、電気炉のように炉体の損傷、溶湯への残存の心配がない



材料投入



溶解



出湯



スラグオフ